

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2020 年 10～12 月期（概要版）〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は 342 社から回答があった。景況判断 DI は▲27 となり、前期調査(▲38)から 11 ポイント改善した。一方、来期の見通しは▲41 となり、14 ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点を見ると、2008 年の調査開始以来、初めて「修理、修繕費等の増加」が 1 位となった。

以下、その他業況感 DI の内訳

2020 年 7-9 月期に対して、

- ・売上高 DI は 11 で、20 ポイント改善
- ・処理量 DI は 7 で、19 ポイント改善
- ・営業利益 DI は▲7 で、7 ポイント改善
- ・資金繰り DI は▲1 で、1 ポイント悪化
- ・借入難易度 DI は 9 で、3 ポイント悪化
- ・設備投資 DI は▲1 で、7 ポイント改善
- ・従業員数 DI は▲4 で、1 ポイント改善

- 売上高の動向については、前年同期比(3 ヶ月平均)で 0.3%減となった。
- 処理量の動向については、前年同期比(3 ヶ月平均)で 3.0%減となった。
- 経常利益率については、平均値が 6.2%となった。

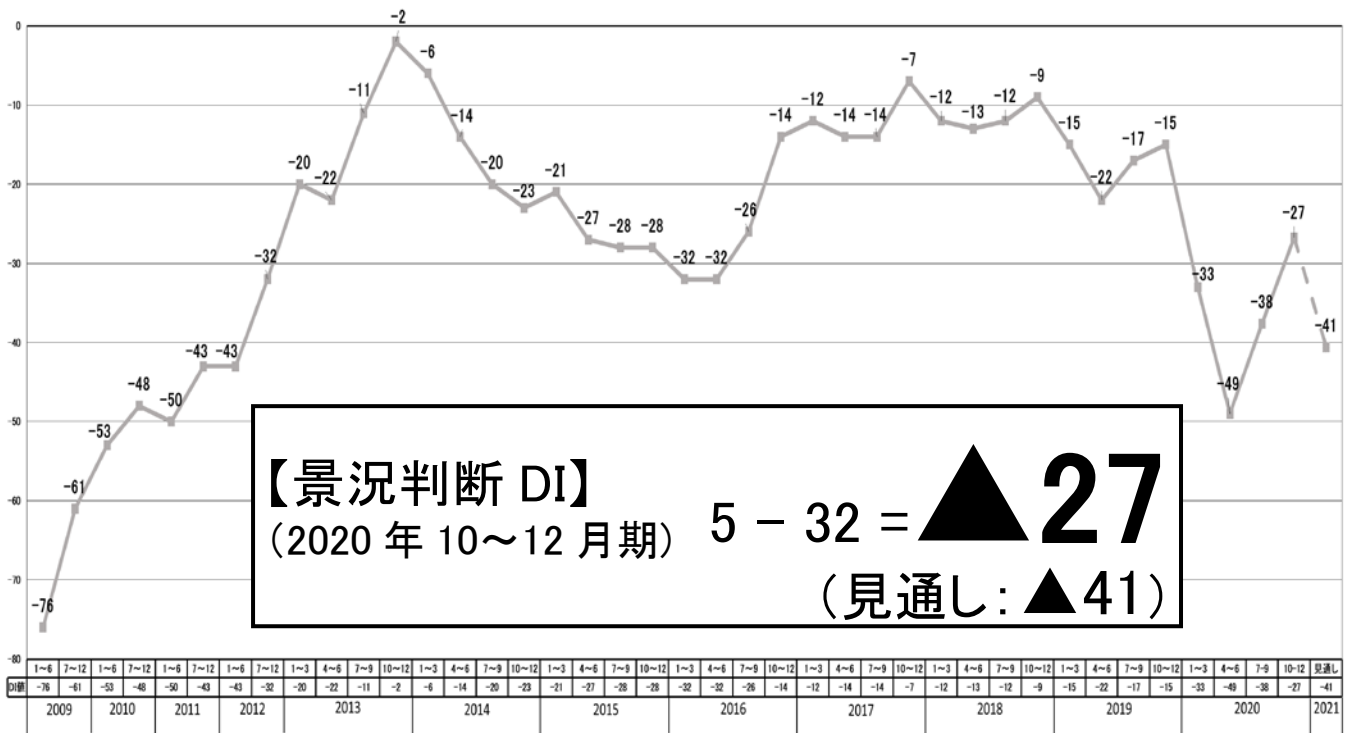
※DI とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

※本調査は、2009 年から半期周期の調査として実施していたが、2013 年からは四半期周期の調査に変更している。

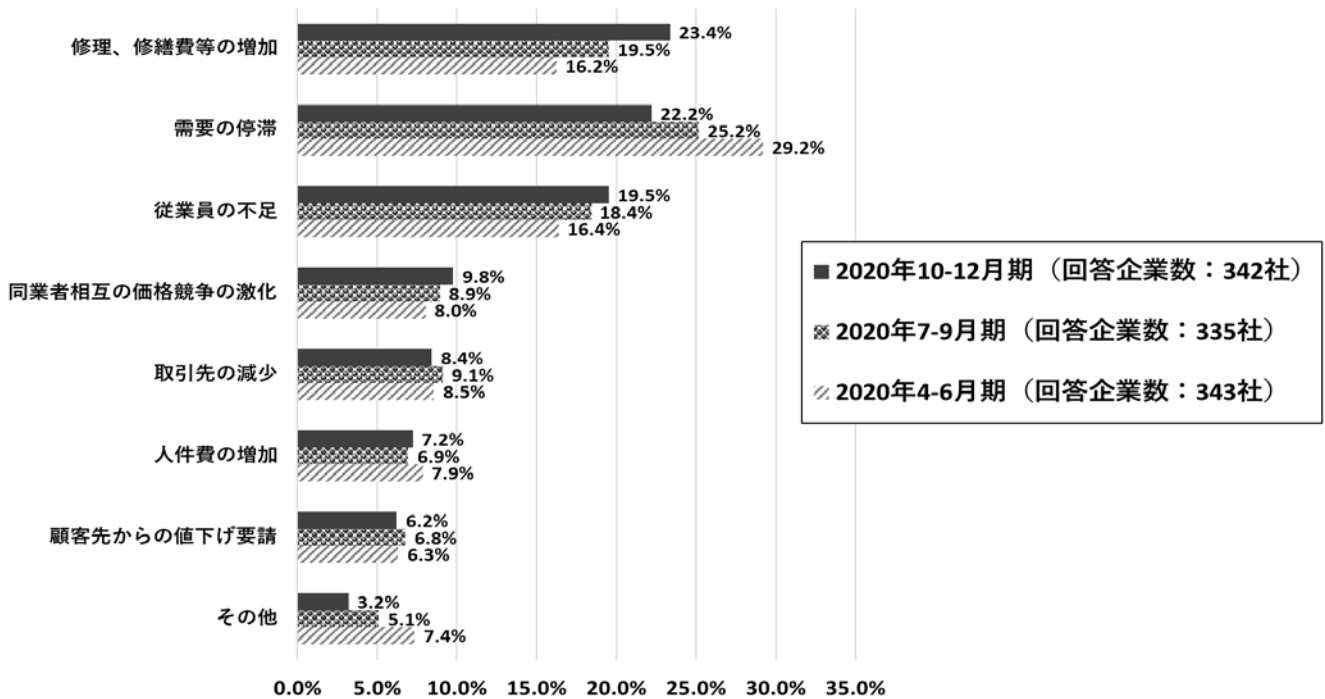
〔調査の要領〕

- 調査の対象:2008 年 10-12 月期で回答のあった全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員
- 調査の方法:郵送によるアンケート
- 調査期間:令和 3 年 1 月 8 日～1 月 29 日
- 回答企業数:342 社

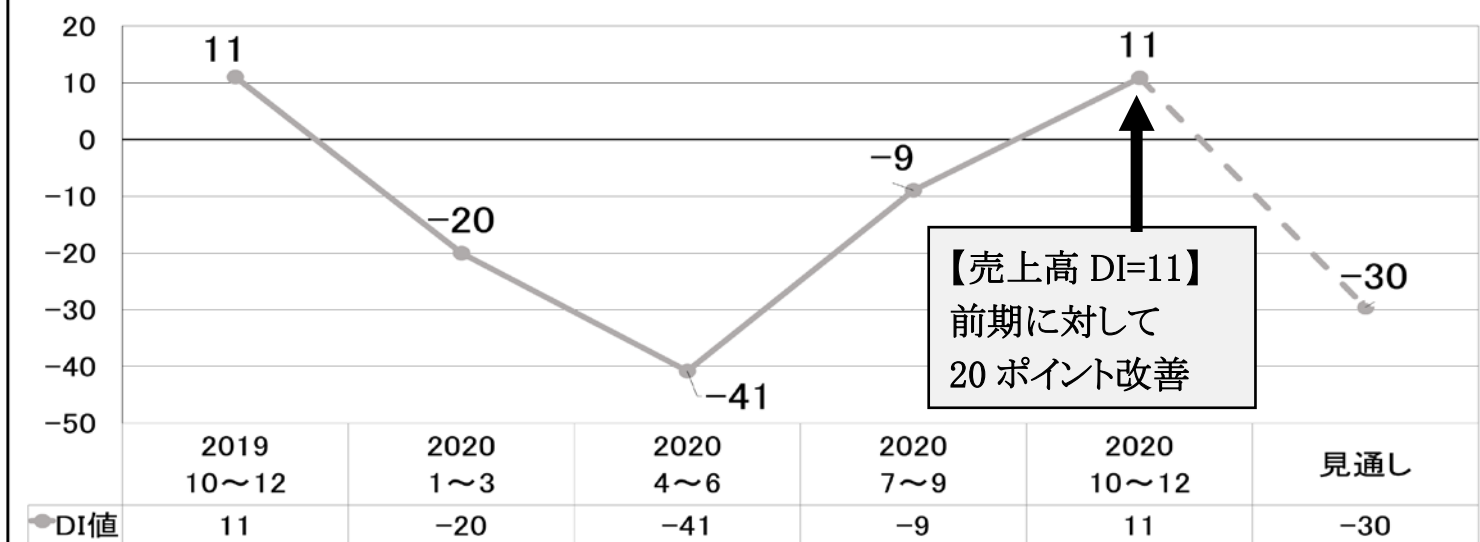
景況判断DI(2009年1月-6月～2020年10月-12月と見通し)



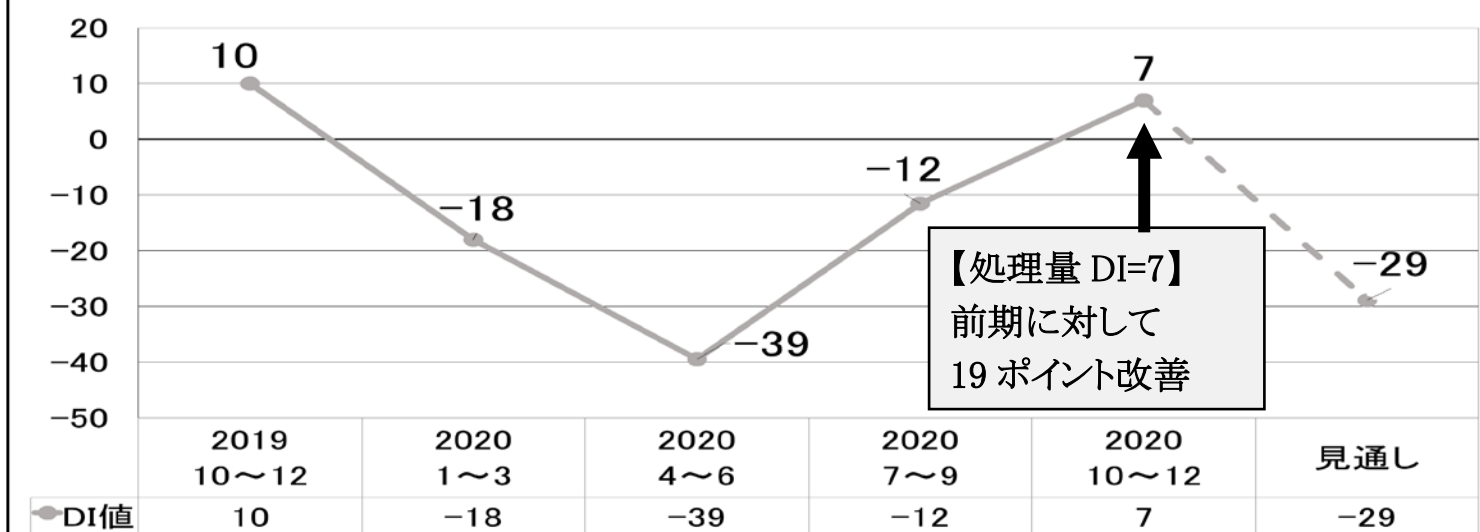
経営上の問題点(複数回答可)
 <2020年10-12月期（回答企業数：342社）>



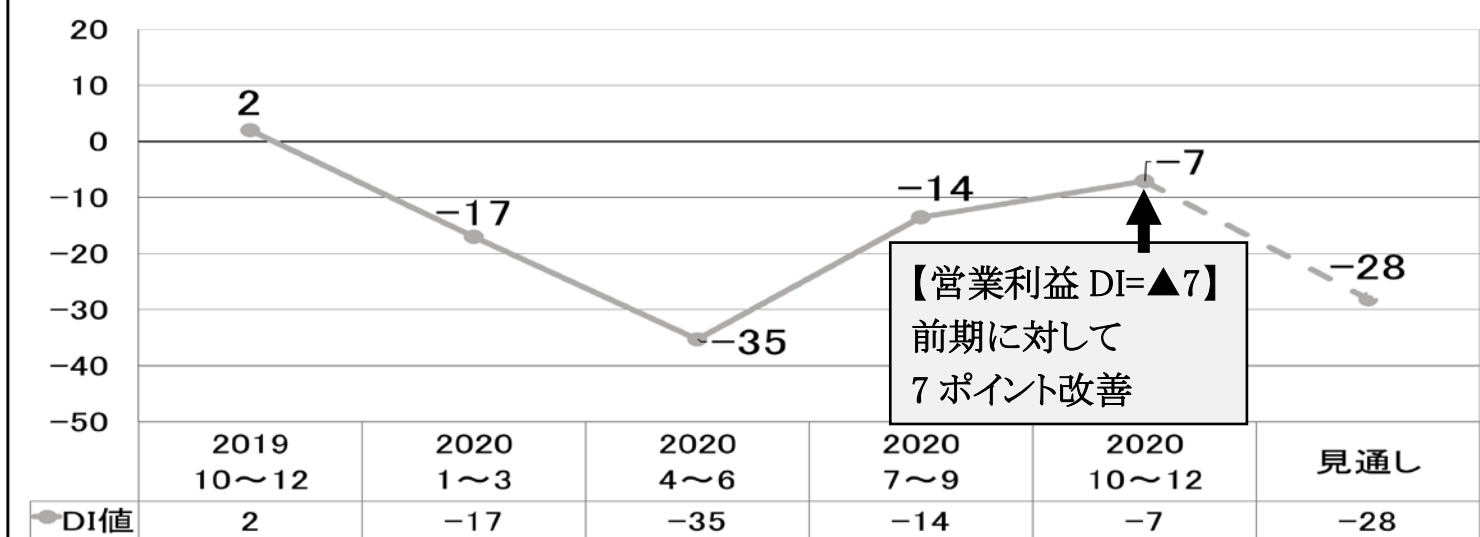
売上高DI
(2019年10月-12月～2020年10月-12月と見通し)



処理量DI
(2019年10月-12月～2020年10月-12月と見通し)

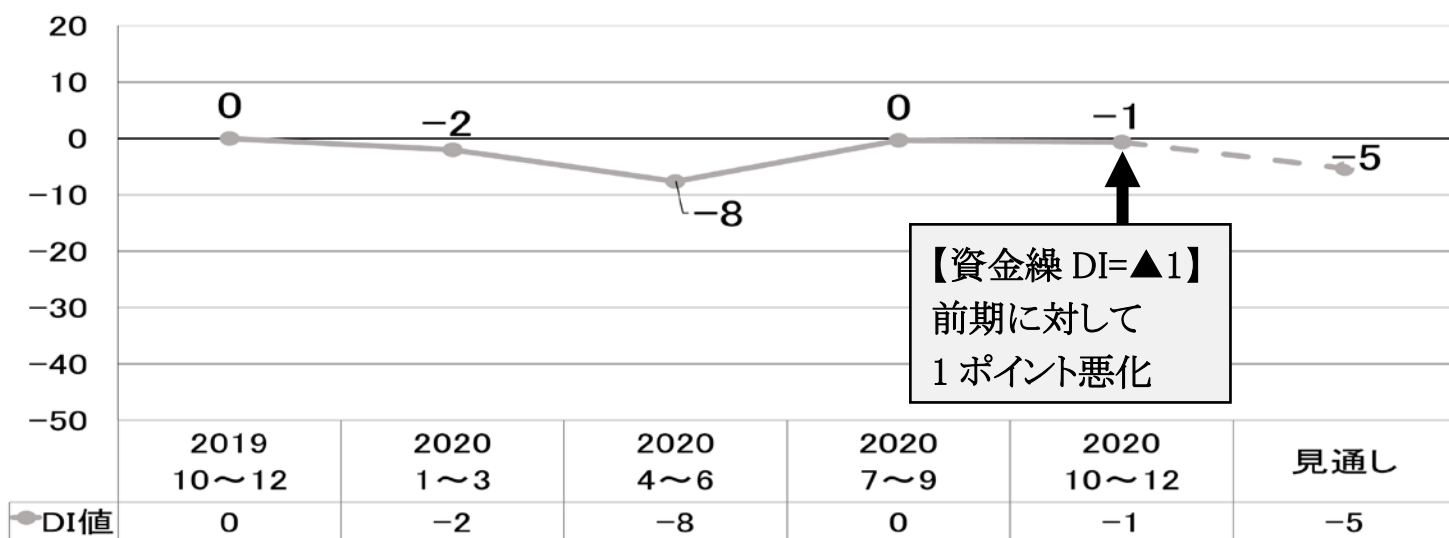


営業利益DI
(2019年10月-12月～2020年10月-12月と見通し)



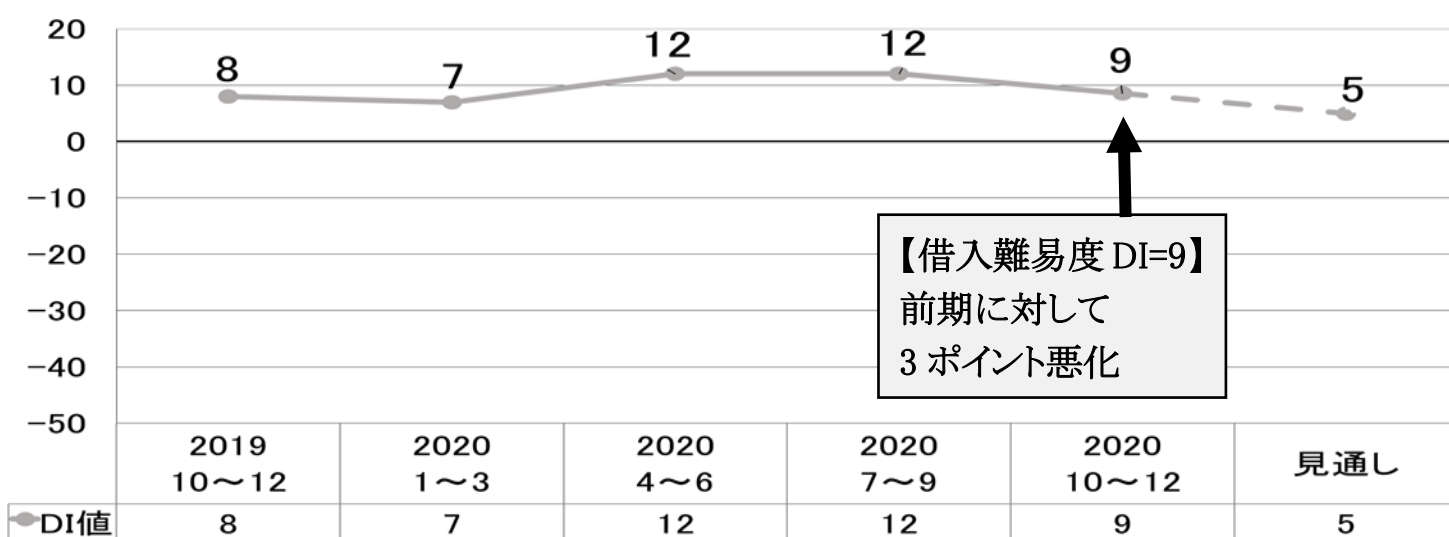
資金繰りDI

(2019年10月-12月～2020年10月-12月と見通し)



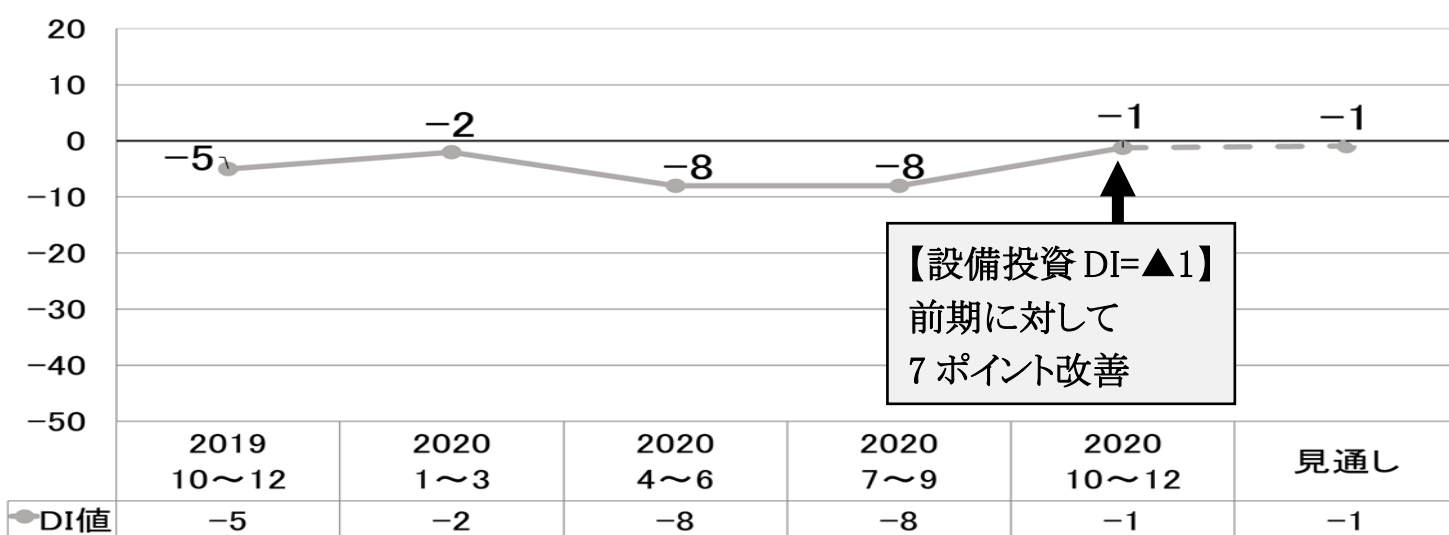
借入難易度DI

(2019年10月-12月～2020年10月-12月と見通し)



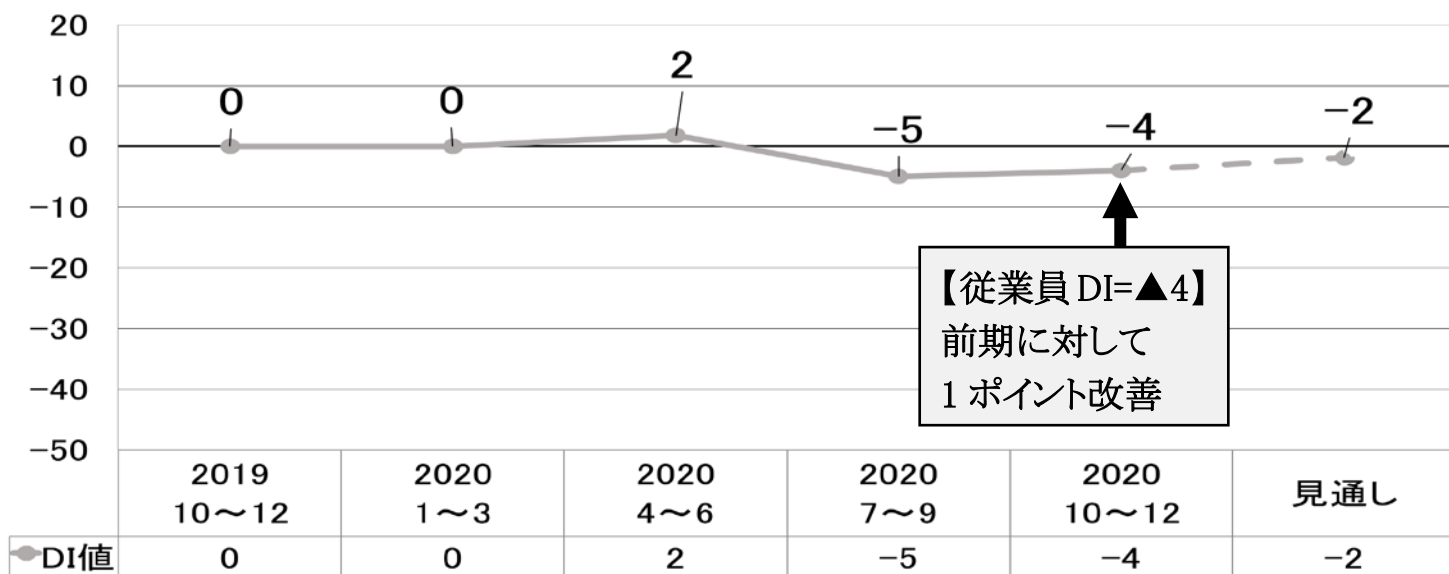
設備投資DI

(2019年10月-12月～2020年10月-12月と見通し)



従業員数DI

(2019年10月-12月～2020年10月-12月と見通し)



【その他業況感 DI の地域別レーダーチャート】

